

今週（10月12日から10月16日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズが堅調で、出会いレートの水準は、1.227～1.228%程度で安定的に推移した。

ターム物は、ショートターム物を中心に1.3～1.4%程度と、横ばい圏での出会いが見られた。ロングターム物では四半期末を跨ぐ期間での資金調達ニーズが見られているものの、オファーサイドからは運用レートを引き上げる動きも散見されており、出会いは限定的となった。

日銀当座預金残高は、409兆円台からスタートした。15日には年金定時払い等により6.5兆円程度の増加となり416兆円程度まで回復。本日も概ね同水準での着地が見込まれる。

●債券レボ市場

今週の債券レボ市場GC T/N物の出会い水準は、1.255%近辺で推移する展開となった。
SC取引の個別銘柄では、カレント近辺の銘柄に引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移した。
16日に実施された3M物入札では、事前予想対比で強めの結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、ゴム製品、小売業、その他金融業など、複数の業態で大型発行が行われた。
市場残高は、24兆円台半ばで推移している。
発行レートは、12月の決定会合での利上げを織り込んだレートで推移しており、銘柄によって投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/12 (月)						
10/13 (火)	67,777.52	3.000	158.49	1.228	1.250	4,098,300
10/14 (水)	67,744.29	2.995	158.44	1.228	1.250	4,095,100
10/15 (木)	64,425.95	2.920	157.94	1.228	1.250	4,159,700
10/16 (金)	65,324.29	2.930	158.16	1.227	1.250	4,158,000

翌週（10月19日から10月23日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
10/19 (月)		TDB1Y物 10/20発行 22,000億円	
10/20 (火)		20Y物 10/21発行 7,000億円	
10/21 (水)	*9月の貿易統計(財務省 8:50)		
10/22 (木)	*主要銀行貸出動向アンケート調査(日銀 8:50) *9月のFSBレポ統計(日銀 8:50) *実質輸出入の動向(日銀 16:00頃)	流動性供給 交付税借入 10/23発行 11/5借入 5,000億円 12,000億円	
10/23 (金)	*9月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TDB3M物 10/26発行 33,000億円	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/19 (月) 日銀予想	0	9,100	9,100	国債補完供給 国債買入	300 3,700		4,000	13,100	TB3M発行▲33,000 償還38,000
10/20 (火) 弊社予想	0	12,500	12,500				0	12,500	TB1Y発行▲22,000 償還32,000 工ネ対策借入▲5,415 償還6,367
10/21 (水) 弊社予想	▲ 200	▲ 8,500	▲ 8,700				0	▲ 8,700	20Y発行▲7,000
10/22 (木) 弊社予想	▲ 300	7,000	6,700				0	6,700	
10/23 (金) 弊社予想	▲ 800	▲ 5,000	▲ 5,800				0	▲ 5,800	流動性供給発行▲5,000 交付税特会借入▲12,000 償還9,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、引き続き資金調達ニーズが堅調で、1.225～1.228%程度での出合いが予想される。ターム物については、証券業態を中心とした資金調達ニーズが根強い一方、年金支給に伴う資金余剰からショートターム物を中心に運用ニーズも入っており、横ばい圏での出合いが継続する見通し。債券レポ市場は、GC T/N物のレートは1.25～1.26%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、19日(月)に1Y物、23日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、21日に五・十日の前倒し発行が予定されており、レート水準など動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では21日(水)に9月の貿易統計、22日(木)に主要銀行貸出動向アンケート調査、9月のFSBレポ統計、実質輸出入の動向、23日(金)に9月の全国消費者物価指数などが公表予定である。海外では特段の主要イベントの公表は予定されていない。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入